



2023年5月15日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長兼最高経営責任者
此下 竜矢
(コード番号 5103 スタンダード市場)
問合せ先 取締役兼最高執行責任者兼
最高財務責任者 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

営業外収益及び、営業外費用並びに、特別損失 の発生に関するお知らせ

当社は、2023年3月期通期（2022年4月1日～2023年3月31日）の決算を締め切る過程において、以下の通り営業外収益及び、営業外費用並びに、特別損失を計上することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益（持分法による投資利益 42百万円）の発生及びその内容（連結）
当社は、2023年3月期第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）までに、当社の持分法関連適用会社の事業の進捗の結果、持分法による投資損失（11百万円）を計上しておりましたが、当連結会計年度（2022年4月1日～2023年3月31日）におきましては、主に持分法適用関連会社の行うリゾート事業について、新型コロナウイルス感染症対策が大幅に緩和されたことにより客足が戻る結果となり、業績が大きく伸長いたしました。その結果、損失から反転し持分法による投資利益（42百万円）を計上することとなりました。
2. 営業外費用（訴訟関連費用 72百万円）の発生及びその内容（個別、連結）
当社は、2022年11月14日付「営業外収益及び、営業外費用、並びに特別損失の発生に関するお知らせ」にて、当社が係属する訴訟に関する裁判費用として30百万円が発生したことをご報告しておりました。当連結会計年度（2022年4月1日～2023年3月31日）におきましても、引き続き当該訴訟が継続していることで裁判費用が発生し、訴訟関連費用（72百万円）を計上することとなりました。
3. 特別損失（減損損失 282百万円）の発生及びその内容（個別、連結）
当社は、当連結会計年度（2022年4月1日～2023年3月31日）の決算を締め切る過程において、昨今の企業物価指数の大幅な上昇に伴い資産除去債務の再計算を行っております。その結果を会計処理に反映させることで、主に当社グル

ープ本社・工場（千葉県柏市十余二）の有形固定資産の帳簿価格が増加することとなりましたが、当該有形固定資産の増加部分について、回収可能性の再検討も同時に実施し、その結果減損損失（282百万円）を計上することといたしました。

4. 今後の見通し

上記に記載の営業外利益につきましては、2023年5月15日付の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映させております。

以上